

乾田V溝直播栽培ごよみ

(品種: はえぬき、ひとめぼれ)

作成: JA庄内みどり 協力: 酒田農業技術普及課

時期	作業名	ポイント
10月	排水対策 明渠 排水溝 弾丸暗渠 (サブソイラー)	★ほ場の選定: 漏生苗 が発生しやすいので、乾田V溝直播栽培を行うほ場は、 前作と同じ品種 で行う。 ★ 排水対策 は十分に行う。排水不良ほ場では 出芽不良 となる。
	土づくり	★ 排水対策 ◎ほ場の周囲に明渠 ◎サブソイラーで、暗渠の排水効果を高める。 ◎団地化 ★ リン酸・カリの補給 ◎専用肥料は窒素のみのため、リン酸・カリが不足している場合には耕起前に施用する。 【目安】 ようりん・ケイカル 各30kg/10a
11月	耕 起	★ 耕 起 : 移植栽培と同様に行う。前作の残さをチェックし、多い場合には、「代かき」時に稲わらなどの残さが浮き上がらないよう注意。
12月	代かき	★ 代かき : 出来るだけ浅水で、稲わらがほ場の隅に吹き寄せられないように注意する。また、トラクターのわだちが残らないように丁寧に行う。(塩化カリ20kg/10a を入水直前に施用することにより、代かき時の「泥水」軽減を図ることが出来る。) ★ 代かきしない場合 : 冬季の耕起後(又は春先)に駆動式鎮圧機で鎮圧する。
	(鎮圧)	★ 漏水対策 ...除草剤の効果や隣接ほ場への影響を考慮し、必ず行う。◎畦畔補修(畦塗り)又は◎畦畔ビニール(春・融雪直後)
3月	種子消毒	★ 種子の準備 : 種子消毒は、チウラムを含む薬剤(「ベンレートT水和剤20」(湿粉衣)又は「キヒゲンR-2フロアブル」(塗沫処理)等)で行う。(浸種・催芽は不要) ※カルバーコーティングは不要!
4月	上 播種・施肥(同時) (4月上～下旬)	★ 播種 : 4月上旬～4月末に、天候、ほ場の乾燥状態(かかと立ちで足跡がつかない程度)を見ながら播種する。 ポイント: 播種・施肥は重ならないように注意する! ★ 播種量 ①4月上旬～下旬播種: 7～8kg/10a ⇒1～2年取り組んで、苗立ちが十分確保できるところは播種量を1～2kg/10a程度減らす。 ②5月上旬: 6kg/10a
	下	★ 肥料 : 専用一発肥料(セラコートR V溝直播(41-0-0)) ※リン酸・カリは冬季の耕起前に補給しておく。 ★ 施用量 : はえぬき 20kg/10a (N:P:K=8.2:0:0) ひとめぼれ 15kg/10a (N:P:K=6.2:0:0)
5月	上 除草剤散布 (1回目: 4月25～5月5日頃)) ※周辺ほ場移植前 灌水(フラッシング)	★ 除草剤(1回目) : イネの 出芽前 に「直播水稻」に登録のあるグリホサート剤(「ラウンドアップマックスロード」又は「草枯らしMIC」等)を散布する。※飼料用米の場合は、「草枯らしMIC」を使用する。 周辺作物へ絶対に飛散させない! ★ 無覆土状態で極端な乾燥状態が続く場合は、一時的に灌水(フラッシング)を行う。
	下	★ 除草剤(2回目) : イネ1.5葉期の入水前にシハロホップブチル(ペンタゾン) 剤(「クリンチャーバスME液剤」又は「クリンチャーEW」)を散布。 重 要! ①散布時期: 登録でノビエ5葉までの散布となっており、遅れずに散布する。 ②除草剤を散布してから(ノビエを抜いて枯れかかっていること確認)5日後を目安に入水する。
6月	上 入 水	★ 除草剤(3回目) : 入水3～5日後を目安に、湛水状態が安定してから除草剤(「直播水稻」に登録のある一発除草剤)を散布する。除草剤の効果を確保するため、漏水対策(畦補修等)はしっかり行っておく。
	下	★ 水管理 : 常時深水湛水。 ・作溝、中干しは不要。 ・深水により、茎数過剰、ヒエ等の雑草の発生を抑制。
7月	水管理	★ 病害虫防除 : 通常の防除と同じ。 ※播種・施肥の重複部分の「いもち病」や「イネツトムシ」等の害虫の発生に注意!
8月	病害虫防除 (必要に応じて) 追肥・穂肥を施用	★ 出穂 は、移植栽培に比べ7～10日遅くなる。 (出穂期(はえぬき・ひとめぼれ): 8月10～15日頃)
9月	病害虫防除	★ほ場が硬いので、落水は収穫5日前から可。
10月	落 水 収 穫	★ 収穫期 (はえぬき・ひとめぼれ): 10月10日頃～ ★ 収量 : 湛水直播並。苗立ち率が安定している分、収量は安定している。
	目 標	収量: 580kg/10a 品質: 1等米(整粒80%) 食味: (玄米タンパク含有率) 7.0%以下

